



檜山地本通信

第1号 2011年11月8日 発行

発行 自治労北海道檜山地方本部 TEL0139-54-2012 fax0139-54-2010

第16回地本定期大会開く



あいさつする長尾委員長

11月5日(土)午後1時30分から、自治労北海道檜山地方本部第16回定期大会を、上ノ国町総合福祉センター「ジョイ・じよぐら」で開きました。

当日は、来賓8人、各単組・総支部から代議員22人、傍聴者3人、執行部16人、計49人の出席がありました。

議長選出では地元開催単組の新谷執行委員長が選出されました。続いて大会役員選出、そして長尾執行委員長があいさつしました。

今日の情勢として人事院勧告を巡る動きや、公務員制度改革、さよなら原発1千万人アクションの取り組みなどについて触れました。

次に来賓の方々からごあいさつをいただき、逢坂衆議院議員、福原道議、そして開催地である上ノ国町工藤町長にあいさつをいただきました。

工藤町長は、「役場職員は住民のスーパーサポーターであるので、まちづくりを推進していつてほしい」と述べました。

引き続き、労金函館支店二葉副支店長、全労済斉木支店長、道消防協函館地方ブロック田中議長からそれぞれごあいさつをいただき、最後に情勢報告含め道本部藤盛副委

員長があいさつしました。

その後、報告第1号二〇一一年度一般経過報告から報告第3号二〇一一年度一般会計決算報告まで承認をいただき、議事についても議案第1号二〇一二運動方針案から議案第6号役員の選出について、賛成多数で承認されました。

最後に、長尾委員長の団結ガンバローで締め、盛会のうちに閉会となりました。



長尾委員長の団結ガンバロー！

やめるべ、大間原発！ 北海道集會

10月29日(木)午後1時から函館市千代台公園

において、「やめるべ、大間原発！10・29北海道集会」を道南地域平和運動フォーラム主催して開かれました。

当日は、道南地域平和運動フォーラムはじめ、檜山



集會であいさつする逢坂衆議

最初に集會が行われ、北海道平和運動フォーラム山田代表のあいさつには「じまり、道南地域平和運動フォーラム相澤代表のあいさつがありました。また、逢坂衆議院議員も駆けつけ、「人間の身の丈にあわない原発をなくしていくことが必要」とあいさつしました。」

地区平和運動フォーラム、市民団体、そして自治労石狩地本・日高地本・胆振地本などからも結集し、参加者総勢は実に1千5百名にのぼりました。うち檜山地方本部からは、8単組1総支部合計45人が参集しました。



檜山地本各単組・総支部組員

「大間原発建設反対」などと訴え、デモ行進を行いました。

続いて、福島県平和運動フォーラム中路良一氏から連帯のあいさつがあり、取り組み報告として、道南地域平和運動フォーラム扇谷副代表、大間訴訟の会竹田とし子代表、元大間町議佐藤亮一さんからそれぞれ報告がありました。最後に集會アピールを全体で確認しました。

さようなら原発

1000万人アクション

脱原発・持続可能で平和な社会をめざして

<秋季闘争スケジュール>

- ・要求書一斉提出→10月27日
- ・回答指定日→11月4日
- ・重点交渉期間→11月7～17日
- ・組合旗掲揚→10月27日～
- ・腕章・リストバンド→11月15日～
- ・超動拒否→11月17～18日
- ・出張・諸会議拒否→11月18日
- ・道本部統一行動→11月18日



南部檜山衛生 労組学習会

10月22日（土）、南部

檜山衛生労組学習会が開かれました。南部檜山衛生労組は、2007年1月18日の組合結成から、およそ4年経過しました。そこで、新たに組合員となった方も多いことから、組合結成時の意識をさらに高めていくために、このたび学習会を企画し、道本部からは、組合結成時にご指導をいただいた、松岡組織拡大専門員、そして共済道支部から山道管理部副部長が出席しました。

松岡専門員からは、「組合とは何か」と題し講演が行われ、「自分たちの労働条件や権利を勝ち取るために労働組合がある」ということ、また、「組合があ

るのとないのとは大きな差がある」ということ、などを改めて学びました。

講演の後は、組合側と当局側に分かれ、模擬団体交渉を行いました。



模擬団体交渉のようす

模擬とはいえ、切実なテーマであったことから、真剣そのものの交渉でした。最後に、「生命保険とライフプラン」と題し、山道副部長から講演があり、自治労共済の優位性について理解を深めました。

檜山地方本部 当面のスケジュール

（11月8日現在）

- 11月13日（日） 道南労福協「ウェルフェアスクール」（函館市）
- 18日（金） 江差町職労定期大会（江差町）
- 22日（火） 南部檜山衛生労組定期大会
厚沢部町職定期大会（厚沢部町）
- 25日（金） 全道庁檜山総支部定期大会（江差町）
2011道南退職者会連絡会第1回幹事会（函館市）
2012道南退職者会連絡会第18回総会（函館市）
せたな町職定期大会（せたな町）
- 26日（土） 道議会議員「ふくはら賢孝」連合後援会総会（江差町）
- 28日（月） 道本部第1回組織強化委員会（札幌市）
乙部町職定期大会（乙部町）
- 12月 3日（土） 連合檜山地協定期総会（江差町）
- 12日（月） 道本部第1回組織強化拡大行動委員会（札幌市）
- 13日（火） 第1回合同専従者会（札幌市）
自治労共済第2回運営委員会（札幌市）

編集後記

昨年4月に着任し、本当に駆け足で過ぎた一年半でした。専従書記長となつてから2回目の定期大会を無事終えることができました。すべての組合員に感謝申し上げます。

さて、定期大会を終え、長尾委員長体制の2期目となる2012年度がスタートしました。相変わらず気を休める暇もなく、残りの任期である約半年間をいまままでどおり、駆け抜けなければなりません。

差し当たって、いま真つ只中に闘っている確定闘争を乗り切らなければなりません。政府は今次の人事院勧告を見送りました。同様に地公段階でも、国が見送つたものを導入する必要はないという、道本部方針を踏まえた闘いが必要です。現給保障は絶対に廃止させない闘い、そして△0.23%を採用するとしても、制度調整を実施させないなど、勝ち取る闘いが重要であります。当局との交渉は不可欠ですので、提案の有無にかかわらずしっかりと交渉を行いましょ。

（佐野）